

## イベント等の開催及び公共施設使用の基準

令和3年12月23日

## 1 趣旨

この基準はイベント・会議開催の基本方針（以下「基本方針」という。）に基づき、必要な事項を定めるものです。

## 2 イベント等の判断基準

市主催のイベント等は、令和4年1月以降も通常どおり開催いたしますが、開催する場合にあつては、以下により対応するものとします。

また、市以外の団体等が主催するイベント等についても、市主催のイベント等と同様の対応への協力を要請するものとします。

時 期		収容率	人数上限
令和4年 1月末まで	屋内	80%以内	5,000人
	屋外	十分な間隔(できれば2m)	
	屋内・屋外	50%以内(大声あり)	

※1 収容率とはその施設の定員数を示します。

※2 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度とします。

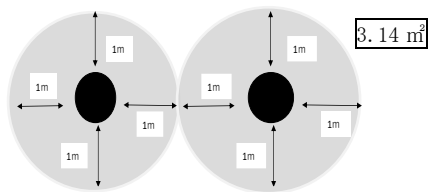
※3 「大声」とは「観客等が、(ア)通常よりも大きな声量で、(イ)反復・継続的に声を発すること」をいい、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが「大声あり」に該当します。

## 3 イベント等の判断の手順

(1) 上記「2の表」に基づき、利用する会場の人数の上限を積算する。この際、屋内、屋外を問わず、人との間隔を十分確保することが必要なことから、「2mの間隔（1人につき3.14㎡相当）」を確保するものとします。

なお、利用人数の積算に用いる、会場の面積については、実際に利用できるスペースの面積を用い、ブースなど人の立ち入ることのできない部分は除外します。

※1人当たり専有面積3.14㎡の根拠：2mの間隔を確保するためには一人につき半径1mの円の中心にいることを想定し、その専有面積を積算します。



(2) 上記の積算後、もっとも小さい数を利用人数の上限としますが、施設の状態やイベントの実施内容等に応じて「3密」を避ける十分な対策などを前提に一定の超過は可とします。(130%程度まで)

#### 4 公共施設の使用及び使用時間の制限

公共施設の使用にあたっては、今後も基本的な感染防止対策を徹底します。

#### 5 イベント等の実施及び公共施設使用に際し主催者として必要な対策等

感染状況の動向を注視し、状況に応じて以下のような対策を行うものとします。

(1) 全体計画の検証(利用者の動線確保、来場者制限の手法、スタッフ配置、参加者名簿の作成等)

(2) 消毒などの感染防止策(検温、マスク着用、換気、利用施設・利用器具・手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保等)

#### 6 その他

(1) 各施設の判断基準は、この基準に基づき、それぞれ施設管理者において策定し、運用するものとしますが、施設の特異性などに鑑み、必要な場合は、独自の利用基準を設けることも可とします。

(2) この基準は、今後の感染状況などを考慮し、必要に応じて見直しを行います。